

<<タイヤ修理方法>>

ホイールのリムから空気漏れする場合
一旦空気を抜きタイヤとホイールのリム接地部を
きれいにします。(ここに砂やゴミが入ると漏れの原因になります)
両面全てきれいになりましたら空気を入れて様子をご覧ください。
もしまた漏れるようでしたらタイヤにクセ等がついていると思われるので
今度はホイールのリム接地部にシリコン材(ホームセンターで販売されています)
で密閉して空気を入れてください、この方法で完全に気密され抜けなくなります。

完全に空気の抜けた状態でのタイヤとホイールのはめ方として
片側ホイールのリム部に
うっすらと凹部がありますのでそこにタイヤの耳を押し込み
固定(手で押さえ)しハマったら反対側のホイールをタイヤ内部に
ゆっくる凹部から外れないよう押し込み、この状態が一番空気が漏れ
にくい状態ですのでこの状態を維持してコンプレッサーで瞬時(一気)に空気
を入れてください。

つぶれたままでの保管期間が長いとタイヤにつぶれた跡(クセ)が付き
復元不可能な場合もあります。

タイヤゴム部分に何か釘等ささった場合
車のタイヤと同じチューブレスタイヤなので
ガソリンスタンドへ持ち込んで修理可能です。
GS店によっては受けない店もございます。